

いめんやす

同窓会訪問記・九思会

山城高校のグラウンドからクラブ活動に励む生徒達の声が賑やかに聞こえてきます。

大会議室に入ると前の長机には校庭に咲いたバラの花が生けられ、やさしく迎えてくれているようです。整然と並べられた席には昔の(五十年前)生徒八十九名程が着いています。

鵜飼会長挨拶に続き、橋本学校長から挨拶と学校概要と今後の教育目標などの説明を受けてました。

眺望の素晴らしい屋上から、全校舎案内と減多に入ることにないテニスコートを見学されました。

中庭で待ち受けていた在校生吹奏楽部の演奏が始まりました。応援歌に始まり、なだそうそう、少年時代、マツケンサンバ、校歌で終え、大きな拍手が送られました。アンコールに応え、演奏をバックに全員で校歌合唱となりました。在校生は「五十年も先輩の前で演奏を聴いてもらってよかったです」と笑顔で答えてくれました。楽しい気持ちをもそのままに懐かしの南門を出て、宴席のある花園会館への移動が下立売通に続きました。

九思会は今回で五回目の開催で一〇〇名の参加がありました。

相馬氏の開会挨拶、乾杯につづいて遠方組が紹介されました。

宴たけなわでビールからお酒などと好みのグラスを片手にテーブルを回り始める人々が次第に目立つようになりました。ショータイムに移り、キラキラと光るエンビ服に身をつつみ、マジシャンの登場です。チャーリ吉村こと、現在も幼稚園園長として活躍されている吉村氏が怪しげな指先から次々とマジックを披露されました。見事なマジックに驚き感嘆の声と拍手が上がりました。吉村氏の腹話術人形の「シンちゃん」が紹介され、シンちゃんが一夜漬けて憶えたという応援歌を聞かせてくれました。

またまた盛大な拍手のうちに三十分のショータイムが幕となりました。

盛り沢山の内容で和やかな宴席が賑わいました。